

リース方式による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成14年度認定）
 地区名：愛知県蒲郡市蒲郡地区
 事業主体：蒲郡市農業協同組合
 管理主体：各施設利用組合（複合経営促進施設）
 施設名：複合経営促進施設 52棟48,835.98㎡（H14・16）
 農畜産物集出荷貯蔵施設（H14）
 非破壊糖酸度センサー 17基等
 事業費：920,556千円（国費：438,360千円）

1. 各組織の概要

組織名	第一期苺施設 利用組合	第二期苺施設 利用組合	第一期みかん 施設利用組合	第二期みかん 施設利用組合	つま施設利用 組合
構成員	11名	7名	5名	8名	3名
設立年月日	H14.8.9	H16.8.10	H15.10.31	H16.10.30	H15.9.30
業務内容等	苺、みかん、つま菊の生産・販売及び苗の育苗を行い、地区内の同業農業者に苗の供給を行う。 なお、苺は予備苗として、みかんは補植用中苗として供給する。				
連絡先	蒲郡市農業協同組合総務部企画課 0533-68-9779 http://www.aichi-ja.or.jp/gamagori/				

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

蒲郡地区においては、農家戸数の減少(H8:1,303名 H13:1,255名)、高齢化(基幹男子農業従事者のいる農家H8:314戸 H13:295戸)が進み担い手不足が進行していた。

また、基幹作物であるみかんにおいては、輸入果実の増加や生産過剰基調により販売高が伸び悩むとともに、他産地において糖酸度センサーの導入が進んだことにより、蒲郡みかんの市場評価が相対的に低下することが懸念されていた。

一方、主要作物の一つであるいちご、つま菊及びみかんの生産農家の中には施設化による規模拡大等による経営の安定を図る農家がいるものの、初期投資が過大となることから施設化に踏み切れなかった。

(2) 取組概要

平成14年度に経営構造対策事業により整備した糖酸度センサーの

整備を契機としみかん栽培農家への高品質みかんの栽培に対する取り組みと技術指導を強化すること並びに平成14年から度16年度にかけて経営構造対策事業により整備している複合経営促進施設（いちご、つま菊、みかん栽培）を意欲ある農家にリースすることにより、効率的・安定的な農業経営体の育成を支援しているところである。

このような取り組みの結果、事業実施2年度目にしてみかんのブランド商品の栽培面積が4.5haから15haへと大幅に増加するとともに、認定農業者が66名から106名に大幅に増加したところである。

現在、引き続き高品質なみかんの栽培を進めるとともに、リース参加者を中心とした高収益のいちご等の栽培による担い手の確保等を推進することにより、当地区の抱える課題の解消に取り組んでいるところである。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

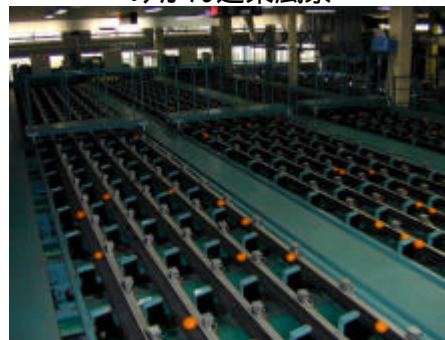
認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の 解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標 割合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加率 %	計画時 (ha)	目標 (ha)
66	136	206.1	10.8	16.2	(24.9%)	(42.4%)	17.5	1.54	0.0
					261.5	445.3			

(2) 地区選択目標

家族経営協定の締結		ブランド商品「箱入娘」の生産拡大	
計画時(戸)	目標(戸)	計画時(ha)	目標(ha)
7	12	4.5	15.0

整備施設

みかん選果風景



複合経営促進施設内部

